

主催 日本物理学会領域 10 格子欠陥・ナノ構造分科、京都大学学際融合教育研究推進センター芸術と科学リエゾンライトユニット

後援 京都大学学際融合教育研究推進センター分野横断プラットフォーム構築事業

## 格子欠陥の現在そして広がる未来 —格子欠陥とアート—

形式：Zoom を用いたオンラインミーティング（webinar 併用）

参加費：無料

期日：2020 年 12 月 13 日（日）

参加登録サイト：<http://urx.space/Evj0>

格子欠陥は、固体中の周期構造を乱し、小さな摂動で大きな変化を生み出すものとして、古くから物性物理の重要な研究対象とされてきた。近年は分野の成熟と共に、新しい発見を得るための難易度が上がっている。ここに新しい視点と感性を加えるために、アートの持つ問題提起という特徴を生かして、分野の特徴・問題を探し、今後の発展の道筋を見出し、「格子欠陥とは何なのか？」について考える。また、これまで物理学者が「もの」としてとらえてきた格子欠陥に「こと」の視点を加えることで、格子欠陥の概念を拡張させる。それらのために本研究会では、これまでの流れにとらわれない新しい視点を持つアーティストと物理学者が協同して、研究会当日までにアート作品を作り、研究会当日には学術的背景と作品に込めた想いを講演する。アーティストにとっても、物理の理論の基礎を知ると共に、物理学者が持っている課題を知ること、活動の幅が広がると考えられる。今回の研究会で得られたつながりは、研究会後も継続的に続いていくことを期待している。

### プログラム

2020 年 12 月 13 日（日）

座長：田中ゆり・東京藝大

13:00-13:10 開会挨拶 格子欠陥とアート（富田直秀・京大院工）

13:10-13:40 【招待講演】結晶は生きている：結晶が形作る美しい成長パターン（佐崎元・北大低温研）

13:40-14:10 【招待講演】格子欠陥からイメージしたキャラクターデザイン（谷口亮・イラストレーター／九産大）

14:10-14:40 【招待講演】人工知能による格子欠陥の内挿的学習（溝口照康・東大生産研）

14:40-15:10 【招待講演】（仮）刹那的抽象表現における格子欠陥（石井則仁・山海塾）

15:10-15:20 休憩

座長:松本祐典・九大院芸工／ピノー(株)

15:20-15:50 【招待講演】(仮) 分子濃縮系としての生命現象を扱う分子集合体科学への挑戦 (岸村顕広・九大院工／九大 CMS)

15:50-16:20 【招待講演】(仮) 格子欠陥の立体表現 (本田雅啓、原田啓之・PICFA)

16:20-16:50 【招待講演】 金属の中の格子欠陥 (湯浅元仁・同志社大理工)

16:50-17:20 【招待講演】 技術に捉われない科学理解を求めて (石田翔太・日本画家)

17:20-18:20 個別討論 (ブレイクアウトルームでの交流会を予定)

18:20-18:30 閉会挨拶 (秋葉宙・東大物性研)

謝辞

本研究会は、京都大学 2020 分野横断プラットフォーム構築事業によって支援されています。

問い合わせ先

[30thldf@gmail.com](mailto:30thldf@gmail.com)

湊丈俊(自然科学研究機構分子科学研究所)

秋葉宙(東京大学物性研究所)

富田直秀(京都大学工学研究科)